

こどもがひとりの人間として尊重される社会をめざし、鑑賞とあそびを通して、生きる知恵と力を育てます。

「異年齢集団でのあそび」を

大切にしています

ドットモ

「土っ手もたのしい会」報告

連載 明橋大二先生の
子育てハッピーコラム⑩
(3面)

「10歳まではし
っかり甘えさせる。
そうすることで、心
の安定した、いい子
に育つ」ほか



3月6日の日曜日 布施弁天裏の利根川土手で
「土っ手もたのしい会」を開催しました。

当日の参加者は37名。2歳から、小学生、大学生、
社会人、大人（30代から70代）の大異年齢集団
が気持ち一つに思いっきり遊びました。事前の話し
合いにも子どもと若い人が加わり、こちらも異年齢
会議。外でのカルメ焼きや土手すべりリレーは大人
だけではなかなか思い付けるものではありません。
当日の様子は参加者の感想をお読みください。

こどもすぺーすでは、デイキャンプや夏の泊まり
キャンプ、他団体への協力として行うものや今回の
ように時折開催する遊び会など、たくさんのお遊び
の機会を提供しています。そこにはいつも若い人が
リーダー的な存在で参加してくれています。子ども
にとって何といたっても魅力的な存在です。そして親
たちも付き添いではなく必ず一緒に、しかも夢中にな
って遊びます。それが、知らず知らずに子どもの
心に安心感を植え付けます。そして子どもたちは自
然とどうしたらもっと楽しく遊べるかを考えるよ
うになります。そこで養われるのが想像力やコミュ
ニケーション力（相手を思いやる気持ち）です。

しつけは必要な場面もあるかもしれませんが、一
つひとつ全て教えることはできません。自分と相手、
周りの人がどうしたら心地よいか、より楽しいかを
考えることができればよいのです。あそびを通して
培われる想像力やコミュニケーション力はどんな

しつけにも代えがたいものです。大人だから、年上
だからと肩肘を張らず、楽しい時間を共有すること
が一番なのです。

以下は「土
っ手もた
のしい会」
参加者の
感想です。
◆今回の
「土っ手
も楽しい
会」は、子



土手すべり

どもと一緒に企画から参加しました。

昨年入会してから、こどもすぺーすの鑑賞会や夏の
キャンプで少しずつ顔見知りになってきた会員の
方達と土手を下見に行ったり、話し合いに参加した
りするなかで我が子も皆さんとうちとけていき、当
日はより一層楽しめたようです。

当日、子どもたちは広～い土手でたこ揚げや土手
すべりを楽しんでいました。たっぷり遊んだ後は4
チームに分かれての土手すべりリレー。大人チーム
も子ども達に負けじと盛り上がり、みんなが笑顔に
なりました。

お天気の都合で今回は近隣センターでお昼を食べ
ることになり、ほかほかの芋煮を作って待っていて
くださった方々にもお世話になりました。土手で子

ども達が摘んだ「つくし」を食べやすく甘辛煮にしていただけのこと嬉しかったです。

いろんな年齢の方が参加して力を出し合い、みんなで遊び楽しい一日を作り上げてしまう「こどもすぺーす」のパワーに触れた一日でした。

皆さん、ありがとうございました。(S)



「ふくらむかな？」

◆当日はくもりぎみでした。レクで土手リレーをしました。大人チームと子どもチームに二組ずつわかれて勝負しました。負けた人はしりもじを書くことになっていました。負けたのは、子どもチームの一組です。約束どおりしりもじをしました。みんなとっても笑いました。もうひと

とつ、レクをしました。負けたのは、子どもチームのもう一組です。これもしりもじをしました。やっている人は、はずかしそうにやっていました。お昼ご飯は、いもにです。各自、材料を持ってきて作りました。とてもおいしかったです。かるめやき作りは、子どもがお手伝いをしました。ほとんどのかるめやきが成こうしました。とても楽しかったです。土手の場所でたこあげもしました。当日は風が強く、上げるのがむずかしかったけどコツをつかんで上げられました。この一日はとても楽しかったです。

(M 小4)



親子でアウトドア体験

デイキャンプ

NPO こどもすぺーす柏では、春秋2回のデイキャンプと、夏の2泊3日のキャンプを行っています。デイキャンプは気軽にアウトドアを楽しめると毎回好評です。

そして春のデイキャンプが5/29(日)に決まりました。

午前中はみんなで野外料理作りです。日ごろ子どもに包丁を持たせるのはハラハラしますが、まだ包丁

を使えない子ども、手でちぎったりピーラーを使って野菜の皮むきをしたりします。

並行して、かまどでは火おこしです。スイッチ一つで火は点きません。薪をくべて、うちわであおいで暑さやけむさと格闘します。野外での調理や火おこしは貴重な体験だと喜ばれています。

食器も、子どもたちにもなるべく自分で洗ってもらうようにしています。

午後はあそびの時間です。あそびは、大人も一緒にあそびます(雨の時は室内あそびです)。

子ども達に一番人気のあそびは、『チャンバラ』です。子ども対大人で対戦するときは、大人の方が本気モード全開です。

年齢がさまざまな子ども達なので、自分より年上の人には甘え、年下の子にはいたわりが自然と身に着くようです。何度か参加している方には、前回出来なかったことが今回は出来るようになるなど、子どもの成長を見ることができたと聞きました。

ぜひ、一度参加してください。毎日同じ環境で一緒にいると見えにくい心の成長も、いつもと違う場所でちょっと離れて我が子を見ることで意外な一面を発見できるかもしれませんよ。

デイキャンプ

5月29日(日) 9:30~16:00 (受付 9:00~)

手賀の丘公園キャンプ場

参加費 小学生以上 900円

幼児(3歳以上) 700円

持ち物 包丁 開いた牛乳パック ふきん

食器 米 飲み物 軍手 タオル

着替え 雨具 など

申込 5/9 10:30~5/10 16:00

事務所へ 電話、FAX、メールで



市内幼稚園で「造形教室」を開催

臨床美術師の資格を持つ理事が講師となり、ほか2名のスタッフとともに市内の某幼稚園で造形教室を開催させていただきました。学期ごとに全クラスが1時間ずつ、先生方への講座も含め、全25時間



明橋大二先生の 子育てハッピーコラム⑩

10歳まではしっかり甘えさせる。 そうすることで、心の安定 した、いい子に育つ



「親が子どもを甘やかしている」といいますけれども、少なくとも甘えるということは大事です。甘えることのできた子どもは、安心感を持ちます。これが意欲のもとになります。私のところに来る子どもたちは、逆に甘えられなかったために調子が悪くなったという人が多いです。世間では、甘えは悪いという先入観が非常に強いですが、決してそうではありません。甘えは、一言でいうと、相手の愛情を求めることです。甘えが満たされるとき、自分は愛されていると感じ、また、自分は、愛される価値のある存在なんだ、と感じます。

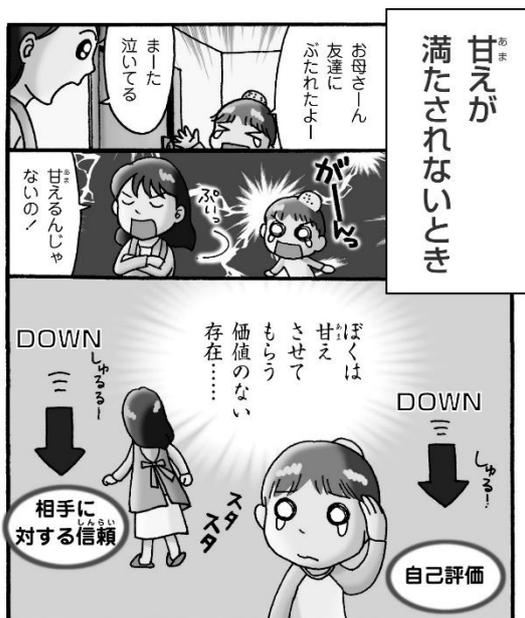
相手に対する信頼と、自分に対する信頼（自己評価）が育ちます。それが、安心感につながります。相手を信じることのできる人は、思いやりを持ち、深い人間関係を築くことができます。

甘えが満たされないとき、相手に怒りが生じ、それが、高じると、自分は、甘えさせてもらえるだけの価値のない人間なんだと思います。それが続くと、周囲に対する不信感や怒りとなり、自己評価が低くなります。そういう人は、相手を信じることも、甘えることもできないので、人間関係が希薄になり、さびしい人になります。攻撃的になったり被害的になったりしやすくて、すぐ人と敵対する人もあります。

■プロフィール

明橋 大二（あけはし だいじ）

心療内科医、真生会富山病院心療内科部長、児童相談所嘱託医、スクールカウンセラー。著書『なぜ生きる』（共著）『みんな輝ける子に』『子育てハッピーアドバイス』ほか多数。子どもの権利条約に基づき、子ども支援の様々な活動・啓発を行うNPO法人「子どもの権利支援センターぱれっと」理事長としても活躍なさっています。



イラスト：『子育てハッピーアドバイス』（1万年堂出版）より



2学期の「フロタージュで色あそび」

の臨床美術造形教室となりました。

臨床美術の目的は、作品を完成させることや写実的に

描くことではなく、創作体験そのものを楽しみ、創作する喜びを味わうものです。

1歳の子どもから認知症の患者さんまで、誰にでも提供できる造形教室です。

3学期は素焼きの植木鉢の側面に土や根を描くというものでした。

子どもたちは入ってくるなり、テーブルに置かれた植木鉢やパステルを見て“楽しそー！”の声。ごあいさつに続き早速作業に入ります。植木鉢の側面にシールで作った“種”を蒔き、土を詰め込むようにクレパスでごしごしと色塗り。クレパスの箱から茶色やグレーなど土色は抜いてあります。ですから写実的ではなく、想像の世界が楽しめます。ベビーオイルを指につけ塗られた色を混ぜ合わせると、本当に「自分だけの色」ができてきます。シールをはがすと種がくっきりと現れ、そこから力強く根を描き、完成です。



植木鉢の作品

この教室の最も特徴的なところは作品を見合うということ。講師は一つひとつに言葉を添えてその作品を称えます。子どもたちはみんな自分の

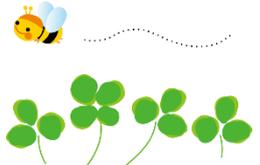
作品がますます大好きになります。これが臨床美術です。子どもたちが自分のことが大好きになって、もっともっと輝くようにと願いを込めてこの講座を届けました。

子どもたちとさよならした後、私たちは出来上がった作品に色止めと艶出しのためにラッカーを吹きかけます。作品を再び手にした子どもたちの喜び顔を想像しながら。

★柏・愛らぶ基金

いつも市民の皆さまよりご支援をいただきありがとうございます。

今年も、226,000円いただきました。7月・1月の「おやこ舞台鑑賞会」に使わせていただきます。団体登録は3年ごとに更新しますが、今年初めての更新を行いました。引き続きご支援くださいますよう、よろしくお願いいたします。



市民交流センター

「パレット柏」オープン

5月20日～23日 開設記念イベント

5月14日（土）、柏駅東口の二番街に建設中のマンションの3階に、市民交流センターがオープンする予定です。この中には協働支援課・男女共同参画室・国際交流室・市民ギャラリーなども入り、今までであった「市民活動センター」よりも幅広い人が集まります。オープンスペースやカフェコーナー、キッズコーナーもでき、誰でも自由に使うことができます。5月20日（金）～23日（月）、開設記念イベント「いいまちづくりふれあいフェスタ」を行います。実行委員会が立ち上がり、話し合っています。毎日一つのテーマを決め、関連イベントを行います（下表参照）。

開設記念イベントのテーマ	20日	金	文 化
	21日	土	環 境
	22日	日	子 ども
	23日	月	健 康

こどもすぺーすは、22日の「子ども」の日に参加します。実行委員会企画の「子育てフォーラム」、「おはなし会」などがすでに決まっています。

ハウディモールにあった市民活動センターは4月24日に閉鎖し、毎年5月に行われていた「市民活動フェスタ」は今年も行われません。秋に例年のほかほか市と合わせ「フェスタ」を企画する予定です。

理事長の徒然

井野口典子

皆さんは「赤崎水曜日郵便局」のことをご存知でしょうか。

熊本県葦北郡津奈木町にある海の上の小学校として知られた「赤崎小学校」。二〇一三年の廃校後に「赤崎水曜日郵便局」と記されたポストが設置され、全国から「水曜日の出来事」が綴られた手紙が送られてきます。そして手紙を送った人の元には、数日後、全く知らない「誰かの水曜日の出来事」の手紙が届くのです。

このプロジェクトは、津奈木町にある「つなぎ美術館」が人と人をつなぐことを地域の人と一緒に行えることはないかと考えたのが始まりです。今までに全国から五〇〇〇通もの手紙が寄せられたそうです。地域のボランティアの手で開封され、また他の差出人の元に郵送されます。美術館ではその「コピー」を閲覧することができます。一部はネットで読むことができます。本にもなりました。

不登校だという中学生女子からの手紙。

母親とのけんかで心が折れ不登校に。昼夜が逆転してしまい学校へ戻ることができない。夜は寝ようとしても眠れない。日中頑張っ起きていれば夜に眠ることができるとも

ない。そう思い付き、ある日やってみた。みごと夜寝ることができ、朝に目覚めることができた。と、学校への復帰の第一歩が踏み出せた喜びを綴っています。まだ学校へは行けていないけれど、その紙面には希望が輝いていました。

水曜日に父親が六〇歳の誕生日を迎え、新聞配達の仕事を退職するという三〇代の女性からの手紙。小学生のころ、毎朝二時に起き雨の日も風の日もカブにまたがり仕事に行く父をカッコいいと思っていた。そのことを学校の宿題で詩に書いて提出しようとしたら父が少し暗い顔をした。彼女は自分の家が貧しいことを知らなかったのです。朝ご飯も一緒、学校から帰ると寝るまでずっと一緒。本当に幸せだったと綴っています。

このプロジェクトは残念ながらこの三月で終了。もっと早く知り一度出してみたかったな。私の水曜日の手紙。…いつも元気で気持ちば未だ青年のような父が今度の水曜日に大きな手術を受けます…。



Cha Cha Cha

卒業、卒園おめでとうございませう。そして、進学、進級おめでとうございませう。

子どもたち周辺は慌ただしくなりました。

・毎日六時間授業が増え下校時間が遅くなる

・塾の日が週二日から三日になる

・お稽古事がふえる 等々

最近の子ども達は忙しく自由な時間が少ないですね。学校の宿題も遊び終わってからだに間に合わないようです。

小学校の部活も凄いです。学校によるようですが、運動部も吹奏楽部も七時近くまでやっています。

さすがに、県代表や全国大会にも進んでいます。小学生だと、練習したら上手くなる、という事なのかしら。

先生の熱心さが子ども達のモチベーションを左右するようです。

暑い中、一日中体育館での練習もきついらうに。音楽室練習ばかりでなく、会場に移動しての練習も大変そう。十〜十二歳だもの。

四月になり意気揚々と部活に入る四年生や新中学生もいれば、入りたいけど大変そうだから、という子も。

もうちょっと、気楽に考えられるといいのに、と思いますが、毎回良い成績を目指すとなると、余り香気な事も言えないかなあ。とにかく、小学校から高校レベルの練習です。

卒業式も女の子は袴姿も珍しくなく、大学生並。レンタルだそうです。そんな子どもを支える親も大変な世の中になってます。

(編集長 辻千也子)

《こどもスペース これからの予定》

4月						
月	火	水	木	金	土	日
				1	2	3
4	5 理事会	6	7 イオンおはなし会 子育て支援部	8	9	10 イオンギフトカード贈呈式
11 鑑賞部会	12	13	14	15	16	17
18	19 ポレポレ	20	21	22 理事会	23	24
25	26	27 会費受付日	28 表現活動部	29 昭和の日	30	

今後の鑑賞会の予定

おやこ舞台鑑賞会 (No.59)
「おやこ de らくご (仮)」
(立川志の春)
2016年7月9日 (土)
アミュゼ柏 1F プラザ

舞台鑑賞会
「松元ヒロソロライブ」
2016年9月21日 (水) 夜
アミュゼ柏 クリスタルホール

おやこ舞台鑑賞会 (No.61)
「みてても、いい？」
(ひつじのカンパニー&くわえば
ぺっとステージ 合同作品)
2017年1月14日 (土)
アミュゼ柏 1F プラザ

ダイキャンプ

日時：2016年 **5月29日 (日)**
9:30~16:00 (9:00受付開始)

場所：手賀の丘公園キャンプ場
集合：どんぐりの家 前で受付し徒歩(徒歩約5分)

参加費：一般 小学生以上 900円・幼児(3才以上) 700円
会費 小学生以上 700円・幼児(3才以上) 500円
(お昼は別売、お弁当は別途お申し込みください)

定員：50名
申込：5/9 10:30から5/10 16:00まで、FAX、メール、電話で
お申し込みください。
お申し込みは必ず、お申し込みフォームに記入の上、お申し込みください。
お申し込みは、お申し込みフォームに記入の上、お申し込みください。

お申し込み：5月27日以前、一度700円、会費500円

雨天決行・荒天中止
(7/17) <http://kodomospace.or.jp/> (メールフォーム)

当日お問合わせ 080-3488-1969 (携帯)

タイムスケジュール

- 9:30 受付
- 10:00 開会式・集合・FAX受付
- 10:30 集合
- 11:00 開会式
- 11:30 開会式

※本会・協賛会・申込

(特) NPO こどもスペース

Tel./FAX: 04-7149-9451
TEL: 0277-0229 受付(平日9:00~18:00)
TEL: 0277-0229 受付(平日9:00~18:00)
TEL: 0277-0229 受付(平日9:00~18:00)

5月						
月	火	水	木	金	土	日
						1
2	3 憲法記念日	4 みどりの日	5 こどもの日	6 理事会	7	8
9 鑑賞部会	10	11	12 監査	13	14	15
16	17 ポレポレ	18	19	20	21	22 パレット 柏オープン企 画参加
23 理事会	24	25 会費受付日	26	27	28	29 デイキャンプ
30	31					
は事務所は開いていません						

ダイキャンプ
5月29日 (日) 9:30~16:00
手賀の丘公園キャンプ場
(p.2 もご覧ください)

***** 【皆様のご協力を】 *****

★**会員になる** 会の活動に参加する、子どものための活動を行う
正会員 入会金 1,000円 月会費 1,500円 (家族会員は年会費 500円)

★**賛助会員になる** 会を資金で支える
個人一口 3,000円/年 法人一口 10,000円/年

★**柏市民公益活動促進基金 (柏・愛らぶ基金) に寄附する**
税負担が軽減されます (2015年度中のご支援は 226,000円になりました。ありがとうございます)

***** 振込先：郵便振替 00160-3-684258 *****

記載されているすべてのイベント・内容については、事務所までお問い合わせ・お申込みください。
または会のブログ <http://kodomospace.sblo.jp/> をご覧ください。